

The Gallery

2005 (平成17) 年 4月10日 (日)

発行・相模原市議会をよくする会

2月臨時会・3月定例会版

政務調査費お手盛増額！

— 議員提案 → 即議決 —

相模原市議会の3月定例会の初日本会議（2月22日）で、山岸一雄議員ほか4名による議提議案第2号「相模原市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例について」が上程された。「一部の改正」とは、従来の月額7万円を同10万円に増額するというもので、増額率は43%になる。この提案は常任委員会などに審議を付託することなく、本会議3日目の3月3日、賛成多数（34対10）で可決された。

このことは、議員自らが取得する手当てを、市民や行政当局などの第3者が一切検討せず、議員自身が勝手に決めてしまうということだ。市の審議会の一つである「特別報酬等審議会」は、議員の報酬額や市長はじめ常勤特別職や常勤監査委員の給料額等を審議し、市長に答申することを目的としたものであるが、今回の「政務調査費」については扱わないことになっているという。世間では第2の報酬と言われている政務調査費が、この審議会の議題にはならないように仕組まれた審議会なのである！この審議会そのもののあり方自体が問題ではないだろうか。10人の委員は市長が委嘱している。

せめて全国平均まで？

議会によると、中核市35市の全国平均の額は12万2000円。そこが提案の最大理由らしいが、市独自の根拠は特に示されていない。非公式だが、合併による市域の拡大で調査活動費の増額が必要と、賛成議員は言っている。

領収書保管5年間で透明性か？

「保管はするが見せない」では透明性ゼロだ。公金の使用についての領収書の公表が条例化されていない。領収書を公文書と位置づけることこそ透明といえる。

議定議案第2号・政務調査費増額案

■ 議案に反対した議員 ■ □ 増額を提案した議員 □

岩本香苗（ネット）	山岸一雄（市政クラブ）
田中武夫（共産党）	小林一郎（公明党）
東條恵美子（無所属）	寺山 猛（民主クラブ）
西村綾子（無所属）	金子豊貴男（社民党）
松永千賀子（共産党）	長友義樹（無所属）
藤井克彦（共産党）	
菅野通子（共産党）	

★議員番号順

★提案は会派の代表としてではないが、参考までに所属会派を表示。議案書の記載順。

6ページへ続く。

傍聴報告・2月臨時会

■ 本会議

(感想と意見) (2月4、7、14日の3日間)

【相模原市・津久井町・相模湖町合併協議会の設置についての2議案＝「設置」と関係「補正予算」について審議するための臨時会が急遽開催された。】

1. 地方自治法第252条の2(協議会の設置)に基づく議案として、田所広域行政担当部長が提案内容の説明をし、大貫財務部長から1500万円の追加補正予算を求めた。(4日)
2. 突然の臨時議会招集ということで、議場は緊張感に満ちていた。3月中に廃置分合(合併)を議決、合併を知事に申請するというスケジュールに合わせて逆算した日程に、反発する議員がいるためであった。(4日)
3. 市長は「合併は最大の行革。心の豊かさが充実する」と、相変わらずの抽象論をかざしている。
4. 久保田義議員「英断を評価」と賛同。
5. 小林議員「平成23年以降は赤字の心配。市民は心配している。デメリットをハッキリと告げて」と注文した。
6. 長友義議員「市長選挙は合併を問うものだったのか。飛び地にしない先行合併の根拠は何か。」などと質問。市長は、「合併よりは私の8年間の実績で受け入れられたと思っている」と反論していたが、明らかに論点を外していた。
7. 西村議員「1市2町は全く新しいものだ。城山がNOならどうする。」との問いに「特例債が最優先」との答え。
8. 東條議員「1市2町は個々のエゴ。飛び地合併は公約になかった。」市長は、「飛び地ではない。先行しているだけ。デメリットはない。」と断言調で回答。

■ 合併問題特別委員会(4日10時24分)

1. 寺山委員が小川市長の委員会への出席を要請したが、以下は各委員の意見。
▲佐藤委員「全員協議会や今日の本会議で説明した。7日の総括質疑の答弁次第で決めればよい」

- ▲米山委員「7日に聞くので出席は不要と思う。7日次第で決めたい」
- ▲田中委員「出席は当然だ」
- ▲寺山委員「最後の言葉を聞きたい」
- ▲金子委員「出てほしい。政策判断聞きたい。助役ではだめだ」
- ▲東條委員「出席すべきもの。細部を聞きたい」
- ▲岩本委員「出席を求めたい」
- ▲藤井委員「質問のない人はしいなくていい。7日の結果でなく、今決めたい」
- ▲寺山委員「市政クラブと公明党にお願い。市長はどこでも行くという人だ。まして議会なのだから」
- ▲岩本委員「7日(本会議)は第1問しか答えない。早く申し入れを」
- ▲寺山委員「最後の決断のためには助役ではだめだ。市長だ」
- ▲佐藤委員「7日のあと真摯に話し合う」

2. 議案の重大性のためか、議員傍聴も多く阿部、中村、西村、松永、長友義議員が顔を見せていた(4日)。阿部、大沢、川田菅野、久保田隼、小池、須田、友成、西村が(8日)。
3. 記者席も普段よりも多く、朝日新聞、神奈川新聞、tv-asahi、読売新聞などが取材にきていた。

■ 合併問題特別委員会(8日9時30分)

- (結局、小川市長は出席し、委員との1問1答が続いた! 常任委員会もこのような市長との討論が実現すればよい)
- 東條委員＝(問) 1市2町で市民の声きいたのか?
(答) 特に必要ない。法定協で声

を聞く。

(問) 3回位の協議は少ない。

(答) 任意協で話し合っている。
1市3町の延長線だ。

(問) 1市2町は寝耳に水。共に栄えは無くなる提案だ。

田中委員 = (問) 色々な市議の声をどう思うのか。目先に捕らわれるな。

(答) 時間が無かった。申し訳ない。慎重さよりも団結が大事だ。城山町長は間に合うかも知れないと言ってる。

(問) 1市3町で合意なら、何で1市2町を受けたのか。

(答) 1市2町なら、他の町もやろうかという気になる。

(問) 4町含めての話は越権行為だ。議会の説明どうする。長期的視野と言いながら、今回は短兵急過ぎる。

(答) 特例債が全てでない。支援措置のほうが大きい。

岩本委員 = (問) 最大の行革という根拠?

(答) 職員定数、首長の削減、パブリックコメント (田所部長代弁)

(問) 最大のネックは行革と言われる。都市内分権をないがしろにしてないか。

(答) 地域自治区を設置する。

(問) 城山町長の「とやかく言うことではない」を了解と受け取ったのか。

(答) 了解と思った。

(問) 特例債の使途はどこで協議するのか。

(答) 法定協の新市財政計画で。

金子委員 = (問) パブリックコメント (PC) に1市2町は出されていない。手続きはどうするのか。

(答) 広報やHPで意見募集はしている。パブリックコメント要綱には則らないが、それ以外のことはやっている。

(問) パブリックコメント 要綱を破ることをどう思うか。

(答) 目的は違っている (山口助役代弁)

(問) 基本方針を決めるときこそパブリックコメントが必要だ。なぜやらないのか、納得できない。

(答) 最大限努力する。(山口) 2町と話し合って実施につき日程調整する。(市長)

★後刻、山口助役からPC計画発表★

2/16 広報号外で実施の公表 (出張所、公民館、HP), 意見募集する。

3/9 意見集約する。

藤井委員 = (問) PCのための新市計画はいつ誰がつくるのか。どの予算でつくる?

(答) 2月14以降になると思う。17日の協議会前に作る。

(問) 特例債より支援措置の44億円のほうが重要だ。合併補正は30億。期限を過ぎると全部失効か。

(答) 全部失効する。

(問) 本当か。

(答) 合併補正は残る。

(問) 「新市計画」は城山のを抜けばいいとは? 投資的経費は意図的に最低額を使ったのは不自然だ。物件費、交付税 (3町分22億円) を入れるのも不自然だ。

(答) 法定協では考える (参事)

(問) パーティングで、シミュレーションの結果として合併なら黒字と言っているのか。

(答) 手元の資料通りやった。

★この後、田中武夫 (反対)、寺山猛 (賛成)、金子豊貴男 (反対)、藤井克彦 (反対) の4委員が討論を行った。

傍聴報告・3月定例会

■本会議 (感想と意見) (2月22, 3月2日)

★ この3月定例会は、議案番号は55と多かったが、うち20が陳情。その陳情のうち12件は橋本6丁目D地区関連に集中していた。2月臨時会(合併問題が中心)の疲れか、16年度補正予算や17年度一般会計予算の審議にも熱気が感じられない議会だった。

★ 本会が最も関心を抱いていた議定議案第2号・「相模原市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例について」は本紙のトップ記事として取り上げている。議案の上程のまえには、シッカリと予算案の中に組み込まれているという、行政と議会の癒着が問題だ。

★ 議案第35・36号は「相模原・津久井地域合併協議会の設置について」と「相模原市・藤野町合併協議会の設置について」で、これを含む総括質疑には次の議員が立った。

1. 山岸一雄 (市政クラブ)
2. 山崎順二 (公明党)
3. 西村綾子 (無所属)
4. 東條恵美子 (無所属)
5. 長友義樹 (無所属)
6. 松永千賀子 (共産党)
7. 長友克洋 (民主クラブ)
8. 金子豊貴男 (社民党)
9. 岩本香苗 (ネット)

【3月18日】

★市長からの追加議案の提案理由説明 — 議案番号40, 41, 42, 43, 44で、「相模原市、津久井郡津久井町及び同郡相模湖町の廃置分合(合併)について」「同廃置分合に伴う財産処分、同自治区の設置、同議会議員の定数、同農業委員会委員の任期等」

【3月23日】

★総括質疑・委員会付託(合併問題特別)

3月2, 3, 18, 23, 25, 28, 29, 30 日の9日間)

★ この日の議論は、農業委員会がなぜ2つ作られるのかに集中したが、納得のいく説明がされなかった。また市長の答弁のなかでも、従来の抽象的な言葉以外には市民を理解に導く発言は聞けなかった。

[市長の発言から]

1. 第3回の合併協議会では委員の総意として目標は「1市4町」との合意を得た。
 2. 津久井4町の事務組合を助けていくのは中核市としての役割だ。
 3. 急ぐのは特例債を得て、市民の負担を軽減させるためのもの。(借金は負担でないのか?)
 4. 地域自治区の組織は8月ごろ決める。
 5. 「1市2町」が固定化したとは思っていない。枠組みの1つに過ぎない。
 6. 選挙では一定の理解は得たと理解する。
 7. 協議会委員の公選は法律上できない。
 8. ある会合で、「市長、頑張り」といわれたので、市民の同意は得られたと思う。(議場が爆笑に包まれた)
 9. 新市の議会議員選挙は合併後50日以内に実施することになる。新議員は18年度に入ってから予算審議に参加出来る。
- ★この日、「廃置分合」についての陳情9つは全て不採択となった。

— 第23号の訂正とお詫び —

- ①P2のコラム「合併問題特別委員会メモ」中、長友克委員が陳情に反対したと記載したのは誤りで、正しくは「賛成」しました。
- ②P3の「総務委員会」に記載された佐藤・細谷達両委員の記述は、正しくは環境経済委員会でのものでした。また一度も発言しなかったのは誤りで、委員会終盤には発言しました。

— The Gallery —

■ 委員会 (感想と意見)

■ 総務委員会 (3月7日)

- 市職員の定数、部分休業、人事行政、任期付き職員の採用、特別職の給与・旅費等の条例についての審議であったが、討論は全く無かった。これはいつものことだ。
- 議案から考えれば、委員と職員側の議論があってもよさそうだが、これもない。従って予算の変更などありえず“要望”の伝達式になってしまっている。
- 議案集の「提案理由」はいずれも法の規定によるとあるが、具体的理由が述べられていない。これも議会の慣習か。
- 元・現議長経験者が3人(溝淵・折笠・由比委員)いても、委員会の終盤にならないと彼らの発言には出くわさない。それが相模原市議会の慣習らしい。

■ 環境経済委員会 (3月8日) ・ 民生委員会 (3月9日) =傍聴記録なし。

■ 建設委員会 (3月10日)

- 阿部・田中両委員の質疑が主なものだった。阿部委員はまず市民参加型まちづくりとコミュニティバスに一層の市民の声を反映させるべきと強調。次に今予算に建築指導費大幅増による既存木造住宅耐震化促進事業について説明を求めた。その結果耐震補強を必要とする家屋が2万戸に対し、予算はたった30戸分と分かった!
- 田中委員の質問では、耐震費用は2百万円だが、助成は50万円だと分かった。二人の委員は当然ながら戸数増と助成増額を要求していた。多寡は別として、行政の方向は評価したい。
- 田中委員の専門事項となった感がある建築確認申請で、市の建築検査課が扱う件数と予算が年々減少している事、民間委託分が7割を越えたことがわかった。
- 13件の陳情のうち10件が高層マンション

の日照権、ビル風など住環境の悪化への対応を望むもの。どんな言い訳があっても、行政が市民の側に立たず、業者側に立っているのが現実。被害の当事者でなければ痛感しないことだけに、議会と行政の護民官的対応が求められる。

■ 文教委員会 (3月11日)

- 友成委員、16年度補正予算審議で、執行残の多さを指摘、当初予算の甘さを突いていたのはもっともだ。
- 西村委員、残高を市債返還より給食など教育費に使えぬか、努力しているのかと質問したが、議論を深めないで終わらせず、どちらが正しいか共に究める事が大事では。
- 友成委員が予算5.6%を評価した上で、少人数制、環境整備(トイレ等)などで、市長が言う「人は宝」のポリシーを生かせと強調した。また机・椅子のJIS規格化を11年以内を9年以内に短縮せよと要求。
- 須田委員はALT増員を要求。予算編成前に予算化を働きかけるとか、提案された計画を変えさせる理論武装をするしかない。
- 山下委員は東林地区の小中学校の冷暖房設置を市側に感謝、ついでに東林小の水たまり除去をチャッカリ陳情していた。地元密着の議員像の典型か。
- 今井委員が安全通学・体験教育の必要性を説き、「人を信じるな」の教育界を嘆く。雨宮教育長が思わず「今井先生」と呼んだのはまずいが、言わば先生同士?

■ 議会運営委員会 (2月28日)

★「議会だより・臨時号」の発行についての審議で掲載写真が問題になった。事務局案は合併協議会風景のものだったが、菅野委員が、臨時会・本会議場の写真の掲載を主張、各会派も賛成し、神奈川新聞撮影の写真を採用と決めた。驚いたことに、この歴史的な議会の記録写真を、議会事務局が撮っていなかったのだ。議会事務局の失態が明らかになった委員会だった。 ■

「視察報告書」の公開はまだ

覧等の要望があった場合にはこれらに応じるとの公開質問状への回答があった

が、これまでには情報公開請求での公開は無いはず。今後条例の改正で正式な形で示してもらいたい。

■政務調査費提案議員 5 氏への公開質問状 (2/23) と回答のあらまし■

Q-①増額で充実を図ろうとする調査活動の内容は？

A-①他都市の先進事例、政策形成能力向上の研修・研究機会、政策提案の研究資料の収集・作成、会派議会活動の報告・広報活動の充実。

Q-②月額7万から10万円への増額(43%)の根拠は？

A-②全国35中核市の平均は約12万2千円。県内中核市の横須賀市は13万9千円。最高の堺市は30万円、人口同程度の熊本は20万円。

Q-③領収書添付と視察報告書の公文書化としての公開を条例化する考えは？

A-③領収書等の証拠書類・会計帳簿などは会派にて5年間保管するので、用途の透明性は確保されている。視察報告書の閲覧は要望があれば答えている。

【投稿】都内Q市・市議会議員X氏(匿名)が相模原市議会の政務調査費について

これほど酷いとは —— 市長と議会の馴れ合い

謹啓 私はQ市の市議会議員であります。相模原市議会が議員政務調査費の値上げ条例を議員提案として上程しており、貴会が公開質問状を出されていることをマスコミ報道で知りました。

私も市議会議員ですが、大変驚いた次第です。なぜならば、Q市議会ではこの種の内容は学識経験者や市民の代表者で組織されている報酬審議会の答申を経て市長から条例案として提案されるからです。

しかも、まだ決議もしていないのに手回し良く新年度予算に増額分として1565万円が計上されているとの報道にはあきれ物が言えませんでした。

これでは市長と議会の馴れ合いではありませんか。市長との密約でなくて何なのでしょう。卑しくも市民に成り代わって行政の姿勢を正すべき議会の取る行動ではありません。Q市では到底考えられない事態であります。

おまけに領収書の添付が条例化されていないことに驚きを通り越して呆れました。先ず現行のやり方を正すべきが筋です。政務調査費も市民の血税であり、税金であるとの認識のかけらも持ち合わせていないのでしょうか。

Q市では当然のことながら、条例や施行規則で厳しく用途基準や領収書の添付収支報告書の5年間の保存義務などを定めております。勿論情報公開の対象であり、市民には全て公開しております。

同じ市議会議員として情けない限りであります。赤倉様たちのお怒りは当然であると思います。噂には聞いておりましたが、これほどひどいとは驚きました。

突然のお手紙でご無礼とは思いましたが、どうしてもお伝えしたくて筆を執りました。

敬白

(原文のまま)

(注) 同封の『用途基準要領』にはQ市議会の公金に対する高邁な姿勢が見られる。

相模原市議会 2月臨時会審議結果一覧表 2005(平成17)年

【審議結果】

議案番号	議案名	議決結果	会派別議決結果 ()=会派構成人数								
			市ク (22)	公明 (8)	共産 (5)	民ク (4)	社民 (2)	神ネ (2)	無福 (長)	無福 (西)	無福 (東)
議提 議案第1号	小川勇夫相模原市長の不信任決議	否決	*無記名投票 出席議員 44名 (欠席 岩上容子、武原裕子) 賛成 12名 反対 32名								
議案第1号	相模原市・津久井町・相模湖町合併協議会の設置について ◎投票議員名 反対13名 共産：田中武夫、松永千賀子、藤井克彦、菅野通子 民ク：小池義和、大沢洋子、長友克洋 社民：金子豊貞男、友成洋一 神ネ：岩本香苗 無福：東條恵美子、西村綾子、長友義樹 賛成29名 市ク：阿部善博、中村昌治、細谷政幸、須田毅、 沼倉孝太、久保田隼夫、岸浪孝志、川上一行、 稲垣穂、川田基晶、小俣旭、佐藤賢司、 折笠峰夫、久保田義則、山下昌志、山岸一雄、 細谷達司、今井満、溝淵謙之、河本文吉 公明：加藤明徳、米山定克、関山由紀江、菅原康行、 大上和夫、山崎順二、山田弘、小林一郎 民ク：寺山猛	可決	*記名投票 (由比議長除く) 出席議員 42名 (欠席 岩上容子、武原裕子、 石井千太郎) 反対 13名 賛成 29名								
第2号	平成16年度相模原市一般会計補正予算(第3号) ※上記合併協議会の予算 ◎投票議員名は同上	可決	*記名投票 (由比議長除く) 出席議員 42名 (欠席 岩上容子、武原裕子、 石井千太郎) 反対 13名 賛成 29名								

【請願・陳情結果】

番号	請願・陳情名	結果	会派別議決結果 ()=会派構成人数								
			市ク (22)	公明 (8)	共産 (5)	民ク (4)	社民 (2)	神ネ (2)	無福 (長)	無福 (西)	無福 (東)
請願第1号	1市2町の法定合併協議会設置の再考について	×	×	×	○	②×	○	○	○	○	○
陳情第3号	1市2町合併について	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○
4号	1市2町の法定合併協議会立ち上げについて	×	×	×	○	②×	○	○	○	○	○
5号	1市2町の法定合併協議会立ち上げについて	×	×	×	○	②×	○	○	○	○	○
6号	1市2町法定協議会設置について	×	×	×	○	②×	○	○	○	○	○
7号	相模原市・津久井町・相模湖町合併協議会の設置に関する市民への説明会の開催を求めることについて	×	×	×	○	①×	○	○	○	○	○
8号	相模原市・津久井町・相模湖町合併協議会の設置について	×	×	×	○	②×	○	○	○	○	○
9号	1市2町の法定合併協議会設置について	×	×	×	○	②×	○	○	○	○	○
10号	1市2町の法定合併協議会の設置について	×	×	×	○	①×	○	○	○	○	○
11号	1市2町合併のための法定協議会設置に反対することについて	×	×	×	○	②×	○	○	○	○	○
12号	1市2町合併のための法定協議会の設置に反対することについて	×	×	×	○	②×	○	○	○	○	○
13号	1市2町合併のための法定協議会設置反対について	×	×	×	○	②×	○	○	○	○	○

○=採択 ×=不採択 ○に数字=人数

政務調査費増額を議員提案

市民ら公開質問状

市議の政務調査費増額の提案を求める条例改正案が相模原市議会議員提案された。市民の住民団体は25日、提案する市民ら公開質問状を送った。3月31日の本会議での採決を控えた今月末までに、回答を必ずしも要求して

「この批判もある政務調査費の増額が必要なのか納付がいかないなどしている。増額が認められれば新たに年165.6万円が必要となる」という。改正案は22日に市議が採決。現在の月7万円

説明している。改正案は委員会に付託されず、直接本会議で採決される。政務調査費は議員が政策研究などに使う費用として議員報酬とは別に支給される。使途の収支決算書や事業報告書などの提出が義務付けられており、領収書の添付は義務づけられている。議員らは同じ中核市の横須賀市が昨年4月に2万5千円引き上げ、同じ13万9千円になった。

2005年(平成17年)2月24日(木曜日)

東 京 新 聞

相模原市議が市議の政務調査費を四割以上増額する改正案を本会議に提案し、市民団体「相模原市議会をよくする会」(赤倉昭男代表)が「厳しい財政下の中、理解できない」として22日、提案議員らに増額の根拠などをたずねる公開質問状を送った。今月中の回答を求めている。議案は二十一日、最大

「市議の政務調査費、4割以上増額」

相模原市議が市議の政務調査費を四割以上増額する改正案を本会議に提案し、市民団体「相模原市議会をよくする会」(赤倉昭男代表)が「厳しい財政下の中、理解できない」として22日、提案議員らに増額の根拠などをたずねる公開質問状を送った。今月中の回答を求めている。議案は二十一日、最大

会派・市政クラブの山岸 賢吾を問う予定だ。「一議員をはじめ、公明、これに対し市議会の傍ら、市民、無所属の五 議活動をしている」各会派、一人月額する会」は、「この時七万円の調査費を四月が、世に市民が納付しない」ら十万円に引き上げるよ など疑問を示し、疑問でいる。毎年三月末に収う求めるもので、「調査 状のなかで充実を図り、研究活動の充実を図るた こととする調査活動の具 体」は山岸氏は理由を説 内容的43%増の根拠の ない。領収書添付の義務 明。三月三日の本会議で 領収書の収支報告書の はない。

添付義務化」について見解を求めた。「政務調査費」は一般企業などの「経費」に当たるとされる。同市は、各会派ごとに人数分を乗じて合算の口座に振り込んでいた。毎年三月末に収支報告書を出し、余った額は返さなければならぬ。領収書添付の義務はない。

報道転載

A

2005. 2. 24

2005年(平成17年)2月24日 木曜日

東 京 新 聞

2005年(平成17年)2月24日(木曜日)

毎日新聞

相模原

増額はお手盛り

市民団体が質問状

開会中の相模原市議会に、議員報酬とは別に支給される政務調査費を4月から3万円アップの月額10万円とする条例改正案が出されたことを受け、相模原市議会をよくする会(赤倉昭男代表)は22日、「厳しい財政状況の中で、増額が必要かどうか」と提案した。赤倉代表は「財政が厳しいとすれば、増額の根拠などを示すよう求める公開質問状を送った」。

政務調査費は資料代や複製費などに使われる。相模原市議の場合、年額84万円。年額で算出すると、3.6万円。川崎市議6.0万円、川崎市議5.4万円、横須賀市議1.66万円、横須賀市議1.66万円、横須賀市議1.66万円、横須賀市議1.66万円に次ぐ。改正案は、年額で36万円増の120万円。全議員に16.66万円の支出増を要する。

現在の市政務調査費交付条例では、収支報告書の領収書添付が義務付けられていない。このため、公開質問状で調査活動の具体的な内容や増額の根拠、領収書添付の義務付けを提案報告書の公開を求め、今月中の回答を求めた。赤倉代表は「財政が厳しいというのに約43%ものアップは、生活の苦しい市民からすれば納得できません。お手盛りではない。領収書添付しないのもおかしい」と話している。(斎藤和夫)

2005年(平成17年)2月24日(木曜日)

東 京 新 聞

政務調査費4割増 市議に公開質問状

相模原市議会をよくする会(赤倉昭男代表)は二十三日、市議会の政務調査費増額に対する公開質問状を各会派の代表ら五議員に提出した。

二十三日開会した三月定例会に、最大会派を含む四会派の代表と無所属一人の五議員が「調査研究活動の充実を図るため」として、議員一人あたり月額7万円が支給されている政務調査費を四月から10万円とする条例改正案を共同提出し

た。議事事務局によると、委員会での審議はされず、三月三日の本会議で採決される見込み。

公開質問状では、「43%もの増額がいま必要なのか、納付がいかない」として増額に対する公開質問状を調査活動の具体的な内容や増額の根拠、領収書添付の義務付けを提案報告書の領収書添付と視察報告書の公開を求め、今月中の回答を求めている。

「一、二、三日開会した三月定例会に、最大会派を含む四会派の代表と無所属一人の五議員が「調査研究活動の充実を図るため」として、議員一人あたり月額7万円が支給されている政務調査費を四月から10万円とする条例改正案を共同提出し、その根拠を説明した。調査活動の具体的な内容や増額の根拠、領収書添付の義務付けを提案報告書の公開を求め、今月中の回答を求めている。

赤倉代表は「財政が厳しいというのに約43%ものアップは、生活の苦しい市民からすれば納得できません。お手盛りではない。領収書添付しないのもおかしい」と話している。(斎藤和夫)

2005年(平成17年)2月24日

新 聞 新 川 報

政務調査費の増額に質問状

相模原の市民団体「相模原市議会をよくする会」(赤倉昭男代表)は二十三日、三月定例会に提出された市議会政務調査費交付条例の改正案について、公開質問状を出した。

公開質問状は、調査活動の具体的な内容や増額の根拠、領収書添付の義務付けを提案報告書の公開を求め、今月中の回答を求めている。赤倉代表は「財政が厳しいというのに約43%ものアップは、生活の苦しい市民からすれば納得できません。お手盛りではない。領収書添付しないのもおかしい」と話している。(斎藤和夫)

例の一部改正案について、提案者の市議五人に公開質問状を出した。調査活動の具体的な内容や増額の根拠、領収書添付の義務付けを提案報告書の公開を求め、今月中の回答を求めている。

赤倉代表は「財政が厳しいというのに約43%ものアップは、生活の苦しい市民からすれば納得できません。お手盛りではない。領収書添付しないのもおかしい」と話している。(斎藤和夫)

相模原市議 政務調査費

「全国平均より低額」 公開質問状に5人回答

相模原市議の政務調査費増額を求めた条例改正案を通り、市民団体「市民団体をよくする会」(赤倉昭男代表)は1日、提議案をめぐり、5人回答を求めた公開質問状を提出した。...

5市議は、他都市の先進例の調査研究の充実などを、今後、充実しようとする具体的活動の1つに挙げている。3万円増額は、「現在の月額7万円はすでに13年が経過している。さらに、相模原市と同様の中核市の全国平均は約12万2000円」との根拠を示した。...

2005年(平成17年)3月2日(水曜日)

相模原市議の 市民団体、5人の回答公表

相模原市議の政務調査費を7万円から10万円に増額する改正条例案をめぐり、市民団体「相模原市議会をよくする会」(赤倉昭男代表)は1日、市議5人に提出していた公開質問状に対する回答の内容を公表した。...

報道転載

B

2005. 3. -2

2005年(平成17年)3月2日(水曜日)

相模原市議が 市民団体に回答

政務調査費増額案 相模原市議会をよくする会(赤倉昭男代表)は1日、市議会の政務調査費増額案をめぐり、各会派の代表から議員に提出していた公開質問状に対する回答を公表した。...

2005年(平成17年)3月2日 水曜日

政務調査費増額案 公開質問に 連名で回答

相模原市議会三月定例会に出された市議の政務調査費を増額する条例改正案で、提案者の市議5人は1日までに、収支報告書の領収書添付の条例化などを求めた「相模原市議会をよくする会」(赤倉昭男代表)の公開質問状に対し、連名で回答した。...

2005年(平成17年)3月2日(水曜日)

相模原市議調査費 反対でなく「廃止」

よくする会「使途の透明性ない」

相模原市議会議員の政務調査費の引き上げに反対する「相模原市議会をよくする会」(赤倉昭男代表)は1日、調査費アップの条例改正案を提案した5議員が、収支報告書への領収書添付など透明化の実現に反対しているとして、調査費そのものの廃止を求めた。...

赤倉代表は「領収書と視察報告書を情報公開の対象の公文書としていない。使途の透明性を保証がなければ、到底納得できない」と廃止を求めた。【高橋和夫】

相模原市議会 3 月定例会審議結果一覧表

2005(平成17)年

(NO1)

【審議結果】

議案番号	議案名	議決結果	会派別議決結果 ()=会派構成人数										
			市 ク (22)	公 明 (8)	共 産 (5)	民 ク (4)	社 民 (2)	神 奈 (2)	無 頼 (長)	無 頼 (西)	無 頼 (東)		
議案第3号	平成17年度相模原市一般会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	平成17年度相模原市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	平成17年度相模原市下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号	平成17年度相模原市老人保健医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第7号	平成17年度相模原市自動車駐車場事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号	平成17年度相模原市介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	平成17年度相模原市母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10号	相模原市職員定数条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号	相模原市職員の修学部分休業に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号	相模原市職員の高齢者部分休業に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号	相模原市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号	相模原市一般職の任期付職員の採用等に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第15号	相模原市長等常勤の特別職の給与及び旅費に関する条例及び相模原市教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号	地方自治法施行令第167条の17の規定に基づき長期継続契約を締結することができる契約を定める条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第17号	相模原市医療費助成条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号	相模原市立保育所設置条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号	相模原市結核診査協議会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第20号	相模原市手数料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第21号	相模原市旅館業の施設の構造設備の基準に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号	相模原市都市公園条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第23号	相模原市屋外広告物条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第24号	相模原市火災予防条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第25号	包括外部監査契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第26号	不動産の取得について (小山公園用地)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第27号	市道の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第28号	市道の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第29号	平成16年度相模原市一般会計補正予算 (第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第30号	平成16年度相模原市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第31号	平成16年度相模原市下水道事業特別会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第32号	平成16年度相模原市老人保健医療事業特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第33号	平成16年度相模原市自動車駐車場事業特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第34号	平成16年度相模原市介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第35号	相模原・津久井地域合併協議会の設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第36号	相模原市・藤野町合併協議会の設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第37号	監査委員の選任について (田中 勝年氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第38号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について (小峰 元氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=可決, 同意 ●=否決, 異議

【審議結果】

(NO2)

議案番号	議案名	議決結果	会派別議決結果 ()=会派構成人数										
			市 ク (22)	公 明 (8)	共 産 (5)	民 ク (4)	社 民 (2)	神 奈 (2)	無 議 (長)	無 議 (西)	無 議 (東)		
議案第39号	人権擁護委員の候補者の推薦について (渋谷 博氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第40号	相模原市、津久井郡津久井町及び同郡相模湖町の廃置分合について ◎投票議員名 反対14名 共産：田中武夫、松永千賀子、藤井勝彦、菅野通子 民ク：小池義和、大沢洋子、長友克洋 社民：金子豊貴男、友成洋一 神奈：岩本香苗、武原裕子 無議：東條恵美子、西村綾子、長友義樹 賛成30名 市ク：阿部善博、中村昌治、細谷政幸、須田毅、 沼倉孝太、久保田肇夫、岸浪孝志、川上一行、 稲垣稔、川田基晶、小俣旭、佐藤賢司、折笠峰夫、 久保田義則、山下昌志、石井千太郎、山岸一雄、 細谷達司、今井満、溝淵誠之、河本文吉 公明：加藤明德、米山定克、関山由紀江、菅原康行、 大上和夫、山崎順二、山田弘、小林一郎 民ク：寺山猛	可決	*記名投票 (由比議長除く) 出席議員 44名 (欠席 岩上容子) 反対 14名 賛成 30名										
第41号	相模原市、津久井郡津久井町及び同郡相模湖町の廃置分合に伴う財産処分に関する協議について	○	○	○	●	①●	●	●	●	●	●	●	●
第42号	相模原市、津久井郡津久井町及び同郡相模湖町の廃置分合に伴う地域自治区の設置等に関する協議について	○	○	○	●	①●	●	●	●	●	●	●	●
第43号	相模原市、津久井郡津久井町及び同郡相模湖町の廃置分合に伴う議会の議員の定数に関する協議について	○	○	○	●	①●	●	●	●	●	●	●	●
第44号	相模原市、津久井郡津久井町及び同郡相模湖町の廃置分合に伴う農業委員会の委員の任期等に関する協議について	○	○	○	●	①●	●	●	●	●	●	●	●
議提 議案第2号	相模原市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	●	○	○	●	○	●	●	●	●
第3号	神奈川県最低賃金改定等に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	キャンプ座間への米陸軍第一軍団司令部等の移転に反対を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=可決, 同意 ●=否決, 異議 ○に数字=人数

【請願・陳情結果】

番号	請願・陳情名	結果	会派別議決結果 ()=会派構成人数										
			市 ク (22)	公 明 (8)	共 産 (5)	民 ク (4)	社 民 (2)	神 奈 (2)	無 議 (長)	無 議 (西)	無 議 (東)		
陳情第23号	教育基本法改正の見送りについて (2003年6月定例会提出)	△											
第17号	教育基本法の理念を生かすことを求める意見書の採択について (2004年3月定例会提出)	△											
第20号	教育基本法の早期国会審議を求める意見書提出について (2004年6月定例会提出)	△											
第24号	教育基本法改正に対し相模原市議会として反対の意見書の提出を求めることについて (2004年9月定例会提出)	△											
第29号	教育基本法改正案の国会提出の見送りと、同法の理念・精神を生かした教育の実現を求めることについて (2004年9月定例会提出)	△											
第34号	市立中学校完全給食の早期実施を求めることについて (2004年12月定例会提出)	△											
第39号	橋本駅北口における自転車駐車場の確保について (2004年12月定例会提出)	×	×	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○

○=採択 ×=不採択 △=継続審議

番号	請願・陳情名	結果	会派別議決結果 ()=会派構成人数																	
			市 ク (22)	公 明 (8)	共 産 (5)	民 ク (4)	社 民 (2)	神 奈 (2)	無 議 派 (長)	無 議 派 (西)	無 議 派 (東)									
陳情第2号	境川の斜面緑地の保全について	△																		
第14号	相模原市中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する 条例の改正について	×	×	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第15号	神奈川県最低賃金改定等について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号	橋本6丁目D地区開発にかかわる貫通道路の必要性について	×	×	×	退	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第17号	高層建築物により発生するビル風の事前確認について	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第18号	市場化テストや給与構造見直しに反対することについて	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第19号	国民健康保険の医療費通知書発行について	△																		
第20号	定率減税縮小・廃止の中止及び消費税の大増税を やめさせることについて	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第21号	確実な税源移譲、交付税の拡充による自治体財政の確立、公務・公共 業務を後退させる市場化テスト反対及び地域経済等に悪影響を及ぼす 給与見直し反対について	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第22号	郵政の民営化に反対し、国民本位の郵便局サービスの拡充を求める ことについて	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第23号	高層建築物により発生するビル風を事前に確認することについて	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第24号	橋本6丁目D地区開発の風環境に及ぼす影響について	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第25号	橋本駅北口第1自転車駐車場移転計画の撤回について	×	×	×	退	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第26号	橋本6丁目D地区開発に関する防災基地と日照権について	×	×	×	退	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第27号	街づくりをする際に市民の声を聞くことについて	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第28号	橋本6丁目D地区開発の再検討について	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第29号	橋本6丁目D地区優良建築物の再検討を求めることについて	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第30号	橋本駅北口第1自転車駐車場の存続を求めることについて	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第31号	橋本6丁目D地区開発の再検討を求めることについて	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第32号	1市2町合併に関し、住民への説明と住民の意思の確認を求めると共に そのために合併特例法期限内の合併を行わないよう求めることについて	×	×	×	○	③	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第33号	1市2町飛び地合併及び1市3町・1市4町合併に反対し、市民意見 反映と合意形成のための住民投票条例制定並びにその早期実施を求め ることについて	×	×	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第34号	1市2町の廃置分合について	×	×	×	×	③	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第35号	飛び地合併を県に申請する前に、4町そろっての合併協議会を行うこ とについて	×	×	×	○	③	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第36号	1市2町の合併反対について	×	×	×	○	③	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第37号	合併議案について会期中に議決することがないよう求めることについて	×	×	×	○	③	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第38号	相模原市、津久井町、相模湖町の合併について	×	×	×	○	③	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第39号	1市2町合併について	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第40号	相模原市、津久井郡津久井町及び同郡相模湖町の廃置分合について	×	×	×	○	③	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第41号	橋本6丁目D地区開発について近隣への十分な説明を行うことについて	△																		

○=採択 ×=不採択 △継続審議 ○に数字=人数 退=退席






相模原市議会 3月定例会での議員活動（一般質問）状況

(NO1)

議員名(会派)	一般質問の主題	議員名(会派)	一般質問の主題
金子 豊貴男 (社会民主党) 	<ul style="list-style-type: none"> ①自転車道の整備と快適な自転車の通行できる街づくり ②相模原市の介護力、介護保険制度の改正と市の取り組み ③都市経営ビジョンについて <ul style="list-style-type: none"> ・市民サービスと経営感覚、市民の負担増と市民サービスの低下 ④キャンプ座間への米陸軍第1軍団移駐反対の運動について <ul style="list-style-type: none"> ・厚木基地の爆音被害対策 	菅野 通子 (日本共産党) 	<ul style="list-style-type: none"> ①教育行政について <ul style="list-style-type: none"> ・子どもをとりまく状況は ・安全、安心のとりくみは ・就学援助制度の充実について ②住民参加のごみ減量のとりくみ ③地域にやさしいまちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・バス停屋根について ・バス停へのベンチの設置について
米山 定克 (公明党) 	<ul style="list-style-type: none"> ①国際交流・国際協力の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな友好都市の提携の推進 ②銀河連邦共和国事業の推進 ③ホームレスに対する支援施策の推進について ④ごみ散乱防止対策について ⑤教育行政 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育について ・教育委員会の組織について 	東條 恵美子 (無所属) 	<ul style="list-style-type: none"> ①指定管理者制度について <ul style="list-style-type: none"> ・導入施設について ・指定管理者となりうる団体とは ②環境情報センター整備について <ul style="list-style-type: none"> ・庁内部署や教育委員会の横の連携について ・人材育成について ③境川斜面緑地の開発行為について <ul style="list-style-type: none"> ・周辺的生活環境について
須田 毅 (市政クラブ) 	<ul style="list-style-type: none"> ①公共交通施策について <ul style="list-style-type: none"> ・新交通システムの進捗状況について ・バス対策について ②公民館のあり方について <ul style="list-style-type: none"> ・公民館改革の進捗状況について ・公民館振興計画について 	松永 千賀子 (日本共産党) 	<ul style="list-style-type: none"> ①障害者福祉について <ul style="list-style-type: none"> ・10月から医療費負担のそれぞれへの影響推定は ・「障害者自立支援法」案についての市民への説明は ②生活保護制度について <ul style="list-style-type: none"> ・市が行っている入学準備金等は継続すべきでは ・高校修学旅行費の助成は
大沢 洋子 (民主クラブ) 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民の防災防火対策について <ul style="list-style-type: none"> ・建物における防火管理体制 ・マンションにおける自主防災組織について ・自治会組織とのパートナーシップについて ②学校における防犯対策について ③市役所駐車場の有料化について 	沼倉 孝太 (市政クラブ) 	<ul style="list-style-type: none"> ①相模原市スポーツ振興計画について <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興計画実現に向けた場の確保について ・既存スポーツ施設の改善と拡充について ②キャンプ淵野辺留保地利用について <ul style="list-style-type: none"> ・跡地利用に向けた今後のスケジュールについて ・留保地の暫定利用の時期について
西村 綾子 (無所属) 	<ul style="list-style-type: none"> ①基地問題と平和の希求 <ul style="list-style-type: none"> ・米軍再編計画についての認識を伺う ・第1軍団司令部移駐を阻むため ・横須賀、原子力空母配備反対を ②都市経営ビジョンについて <ul style="list-style-type: none"> ・さがみはら都市経営ビジョン策定の背景と地方自治の役割 ・指定管理者制度について 	藤井 克彦 (日本共産党) 	<ul style="list-style-type: none"> ①建築物解体工事と周辺住環境の保全について ②中高層建築物の建築と周辺住環境の保全について <ul style="list-style-type: none"> ・「紛争の予防と調整に関する条例」の対象に借家人を含める条例改正は ③「(仮称)産業集積促進条例」について

相模原市議会 3月定例会での議員活動（一般質問）状況

(NO2)

議員名(会派)	一般質問の主題	議員名(会派)	一般質問の主題
岩本 香苗 (神奈川ネット ワーク運動) 	①環境問題 ・地球温暖化対策の推進について ・境川斜面緑地の保全について ・環境情報センターの整備について ②基地問題 ・キャンプ座間への米陸軍第1軍団司令部移転について	長友 克洋 (民主クラブ) 	①包括外部監査結果の取り組みについて ・平成16年度結果報告書についての見解と今後は ・出資法人等の整理統合を行うべきでは ・過去の結果に基づく措置の進捗状況は ・指摘事項改善計画の策定等は ・監視期間の設立が必要では
田中 武夫 (日本共産党) 	①平和と基地問題について ・米陸軍第1軍団司令部移転問題 ・米軍機の爆音問題について ②介護保険制度について ・利用者負担の軽減とホームヘルパーの通院介助について ③指定管理者制度について ・市営住宅を適用することについて	細谷 達司 (市政クラブ) 	①タックス・ベース(税源涵養)について ・都市基盤整備と土地利用 ・産業振興プランについて ②広域交流拠点都市としての課題について ③保健所業務について ・保健所に関わる医師、歯科医師の配置について ・合併に伴う本市保健所の在り方
山田 弘 (公明党) 	①都市行政 ・住民参加のまちづくりについて ②消防行政 ・防火、防災対策について ③教育行政 ・教育と家庭、地域の連携について	※詳しい内容は『市議会だより』や『議事録』を参照して下さい。	

欠席議員その後 今後の検討を

本紙The Gallery 23号で取り上げた市議会議員2名の長期欠席問題が反響を呼んでいる。

一つは、ややタブー視されていた現職議員の病気欠席問題に、本会が言及し、議会の対応に不満を表したことへの評価。もう一つは、議員自身が何も説明責任を果たさず、他の議員も裏で問題視していることだ。

欠席を続けた議員のひとり武原祐子議員、今3月議会には元気な姿を見せたものの、本会議最終日(3月30日)の一般質問では質問をせず、欠席した。

もうひとりの岩上容子議員は、今3月定例会も欠席を続けている。ただ、岩上議員が所属している日本共産党では、党

の『後援会ニュース』3月号(NO299)に、「ご報告」と題するコラムを掲載し、「議員は昨年(04)8月から体調を崩し議会も同9月議会から休み、ご心配・ご迷惑をおかけした。回復に努力しているので理解してほしい。」(概略)と挨拶。ただ本人のメッセージではなく、日本共産党北部地区委員会と同市議団の連名となっていた。

結局、病気欠席との発表であり、先の本会の情報公開請求時に、議会事務局が個人情報保護ということで欠席理由を公表しなかったのは何だったのか。

長期欠席議員にも、報酬とボーナス、さらには問題の政務調査費をも支給するというのはどの条例規則によるのか。見直しが必要ではないのか。至急に検討をするよう提言しておきたい。

小川市長の不信任決議案上程

2月臨時会の最終日14日は、議定議案第1号（小川勇夫相模原市長の不信任決議）が上程され、無記名投票の結果、出席議員44名（岩上容子・武原祐子両議員が欠席）のうち、賛成12名、反対32名の少数で否決された。過去の市長不信任案は1959年の小林与次右衛門市長へのもの以来34年ぶりであった。

不信任決議案・全文（2月14日）

提出者 相模原市議会議員 菅野通子
提出者 相模原市議会議員 長友克洋

「本市議会は、小川勇夫市長を信任しない。以上、決議する。」

提案の理由:

小川勇夫市長が、今まで協議してきた隣接する城山町を除いた「相模原市・津久井町・相模湖町の1市2町合併」を進めるための法定合併協議会設置を突然、唐突に提案したことは、到底容認できない暴挙である。

これは、紛れもない「飛び地合併」の提案であり、50年、100年先まで禍根を残しかねない、重大な問題である。

小川市長は、このことについて、さきの市長選挙中には一言も触れていない。したがって、選挙で当選したことをもって市民がこのことを支持しているとは、決して言えないことは明らかである。

この「1市2町」合併を、「後から城山町が合併する」と勝手に決めつけて「先行合併である」「1市3町での合併協議の延長である」と言い張り、飛び地の町相模原になる可能性があることを隠したまま、駆け込みで3月中に決定してしまおうとしていることは、許すことができない。

このような小川市長には、市政運営とまちづくりの舵取りを任せることはできない。

以上の理由から、小川勇夫相模原市長の不信任決議を提案するものである。

市政ク報告書

積極的に公開を

昨年11月に実施された市政クラブのシンガポールIT視察の『行政視察報告書』がこのほど完成、本会に1部提供があった。

70ページからなるこの報告書は、行程5日間の中で同国の経済開発局、国立公園局、水源省、教育省、交通省などの訪問による施設視察や意見交換をした記録である。

内容は13のテーマ別項目からなり、それぞれの会合で受けた説明内容と訪問議員（今井団長他7名）の感想が述べられている。

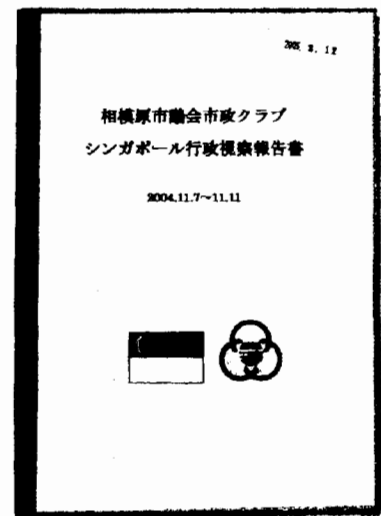
報告書のなかで注目したいのは、「政策提言」として8提言が

具体的に示されており、テーマ分類と相模原市庁内関連部署を明記してある点。

関連部署は10に及ぶが、これからどのように市政クラブが提言の具体化に各部署と詰めるかに関心を持っている。一言でいって、非常によくできた報告書である。

このような報告書が作成され、市民に視察の成果を示すことが出来れば、議員の活動も理解されるのではないか。

これを機会に領収書類等と共に報告書の作成と公表を義務づける条例改正の作業に入ってもらいたい。まずは情報公開室の棚にこの1冊を配架する事を勧めたい。



石井議員、合併採決を 棄権して私的海外旅行へ

とんでもない議員がいる。石井千太郎議員（市政クラブ所属）だ。2月臨時会の最終日の14日、夜7時からの本会議は、臨時会の最重要議案である「相模原市・津久井町・相模湖町合併協議会の設置について」の採決を行った。欠席議員は岩上容子、武原祐子（以上病欠）と石井千太郎議員の3名。

石井議員は午前の小川市長不信任案への反対投票を済ませた後、予定していた私的な海外旅行に出かけ、上記の「合併協設置案」の記名投票を棄権した。議員としての義務を捨て私的旅行を優先させた石井議員（元議長）の責任を問いたい。会期の最中にかかる行動をとった本人は「ライブの問題だ」と反省の姿勢は見られなかった。議員失格の声も。

□ 本会第6回総会 □

「相模原市議会をよくする会」の年次総会が、5月15日（日）午後1時から大野北公民館で開催されます。事業計画／予算についての審議のほか、新体制人事や会の運営についての話し合いが行われます。日頃の活動に参加できない会員のご出席をお待ちします。

6月定例会日程

（会議の開始は毎日朝9時半から）★陳情締切 6/2

5月27日（金）議会運営委員会	6月16日（木）建設委員会
6月3日（金）本会議（議案説明）	6月17日（金）文教委員会
6月9日（木）本会議（総括質疑）	6月28日（火）本会議（委員長報告）
6月13日（月）総務委員会	6月29日（水）本会議（一般質問）
6月14日（火）環境経済委員会	6月30日（木）本会議（一般質問、議運委）
6月15日（水）民生委員会	

市民が開く

市議会報告会

4月17日（日）午後1時

相模原市民会館・2階中会議室

★市議と「合併議会」や「政務調査費」を語り尽くす...

市政50周年という節目の年に、市の将来の運命に関わる合併問題が、議会も市民も2分して議論が展開された。その総括を語る。またドサクサに紛れてお手盛り増額となった「政務調査費」をめぐる議会の動き。都内Q市のX議員も招きそのあり方を論じます。ぜひご参加を！

編集後記

- 2月から3月にかけて議会は津久井郡内各町との合併問題に揺れた。傍聴も度重なる時間変更・休憩・再開で振り回されてしまった。
- 50年、100年を視野に入れた重大問題にも議員の大半は他人事のそぶり。市長の不信任案のおまけまで付いた。

□入会申込書□

<入会金不要>

私は会の趣旨に賛同し、入会します。（A、Bどちらか○をつけてください。）

氏名 _____

A. 会員（傍聴など活動する）として

住所 _____

B. 賛助会員（購読し、支援する。）として

☎・FAX _____

●年会費（会員2000円、賛助会員1口1000円から）

★郵便振込口座番号：00280-6-48430 相模原市議会をよくする会

★申込み先= 相模原市議会をよくする会・事務局（代表/ 赤倉昭男）

〒228-0814 相模原市南台5-13-8 ☎/FAX 042-749-9140

HP = <http://yokusurukai-gallery.hp.infoseek.co.jp/>